

サイディングボードの意匠は多色化や多彩なデザインと目覚ましい進化を遂げており、塗り替え時期に塗装で意匠性の維持、回復することを可能にするため開発された、サイディングボード専用の透明な仕上げ材です。特殊バインダーとの組み合わせにより紫外線をカットし、下地の劣化を防ぐ事から長期間意匠性を維持するとともに、新築当時の意匠を甦らせます。セミフロンスーパーアクアIIクリヤーは、オルガノポリシロキサン系樹脂エマルジョンとグリシジル基含有シリコンオリゴマー、フッ素樹脂からなる2液常温反応硬化形の水性無機・フッ素樹脂塗料です。熱や紫外線に安定なポリシロキサンをフレキシブル性に優れた特殊成分を用いて樹脂を変性することで、無機の特長である優れた耐候性・耐汚染性と有機の特長である耐屈曲性・耐クラック性双方を兼ね備えた次世代の塗料です。なお、水性タイプのため、扱い易く、環境にも優しい塗料です。

## 特長

- 1) 製品は透明なため下地の意匠を活かし長期間保護することができます。
- 2) 反応硬化形なので耐候性・耐汚染性に優れています。
- 3) 超高耐候性能を有する為、メンテナンス周期の延長が可能になります。
- 4) 主成分が無機質であるため、難燃性に優れています。
- 5) 従来の無機系塗料に比べて、耐アルカリ性、耐屈曲性、耐クラック性に優れています。
- 6) 常温で硬化し、優れた塗膜性能を発現します。

## 適用下地

外壁：金属・窯業系サイディングボード

## 塗料性状

項目	内容
1 混合比	15：1
2 色	クリヤー
3 艶	艶有り、5分艶、艶消し
4 比重	主 剤：1.2、硬化剤：1.08
5 固形分	主 剤：49、硬化剤：38
6 外 観	主 剤：乳白色液体 (クリヤータイプ) 硬化剤：淡黄色透明液体
7 消防法による危険物区分	硬化剤：第4類 第3石油類
8 労衛法による表示対象物	-

## 塗装条件

工法	材料名	塗回数	塗布量(kg/㎡/回)	希釈	塗装間隔(20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜で剥れ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。 またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄等で除去し、乾燥した面とする。					
下塗	セミフロンバインダー SiIIクリヤー	1	0.15~0.18	塗料用シンナーA 0~10%	12時間以上7日以内	刷毛、ローラー、 スプレー
上塗	セミフロンスーパー アクアIIクリヤー	1	0.15~0.18	水道水 0~10%	工程間4時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、 スプレー

\*施工前診断を行い、白亜化等級を確認の上、施工して下さい。

\*液溜まり部、標準塗付量以上を一回で塗付した場合、白濁したまま乾燥しますので、刷毛で拾い塗りしてください。

\*白化現象防止の為、硬化乾燥までの養生期間を十分に確保下さい。

## 可使用時間及び塗装間隔

季節	気温	可使用時間	塗装間隔
夏	25～35℃	3時間以内	2時間以上～7日以内
春・秋	15～25℃	5時間以内	4時間以上～7日以内
冬	5～15℃	8時間以内	6時間以上～7日以内

## 荷姿

16kgSET	15kg/1kg
8kgSET	7kg /0.5kg
3.2kgSET	3kg /0.2kg

## 専用下塗材

セミフロンバインダーSiIIクリヤー  
※工程間隔は12時間以上空けて下さい

16kgSET	14kg/2kg
8kgSET	7kg /1kg

## 施工実例



施工後6年経過物件

## 施工前診断

- ・クリヤー塗装には可能なケースと不可能なケースがあります。
- ・チョーキングや汚れが目立つ前に塗り替えることが最適です。外観上は全く異常が認められないサイディングも肉眼では見られないクラックが認められます。これが劣化の始まりとなります。
- ・クリヤー（透明）仕上げとなるため下地によってはその下地の状況をひろってしまいます。このため汚れや、チョーキングが著しいとムラになって、クリヤー仕上げが難しいものとなり、付着不良、白化、剥離の原因となります。以上のことから施工に当たり、施工前診断による調査の実施が必ず必要です。
- ・施工に適さないチョーキング改修面には施工は絶対に行わないで下さい。付着不良、白化、剥離が発生し、クレームとなります。無理をせず、別途エナメル塗料による改修に変更して下さい。
- ・チョーキングの激しい部分が一部の外壁面にある場合でも、施工は行わないで下さい。この場合も無理をせず、別途エナメル塗料による改修に変更して下さい。



- ← 白亜化等級1 施工可能
- ← 白亜化等級2 施工可能
- ← 白亜化等級3 施工不可

### 施工前診断 セロテープ方法

1. 透明テープ（簡易的にセロハンテープ）を使用する。
2. テープを塗膜表面の上に置き強く押し付けて指でこする。
3. テープを剥がし黒い紙の上にテープを乗せて白さ（白亜化度）を対比評価する。
4. 「JIS K 5600-8-6 白亜化の等級」に準拠し、この中の「数値化した白亜化の等級1～5の標準画像」で対比評価し、判定する（JISハンドブック等を使用して下さい）。

## 使用上の注意

- 1) 主剤と硬化剤の配合割合は厳守して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良が発生します。また、十分な塗膜性能が発現できませんのでご注意下さい。
- 2) 以下の場合は、塗装出来ませんのでご注意下さい。
  - ・天候が悪い（降雨、降雪、強風）場合。
  - ・湿度が85%以上ある場合。
  - ・気温が5℃以下の場合や、施工後数時間以内に5℃以下になる可能性がある場合。
  - ・被塗物が水で塗れていたり、錆、油等の遺物が付着している場合。
- 3) サイディングボードのシーリング目地を塗装する場合、シーリング目地部での割れを防ぐため下塗施工後一度刷毛にて上塗を塗付けた後、ローラーにて全面塗装して下さい。
- 4) 0℃以下の場所や直射日光の当たる場所での材料の保管は避けて下さい。
- 5) 塗膜を暗所にて長時間放置しますと塗膜がやや黄変することがございますが、太陽光を受ける事により間もなく消失します。
- 6) カチオン系プライマーを使用した塗装用具を十分に洗わずにそのまま使用しますと、凝集物を生じる場合がありますので、これらのプライマーを用いる場合には十分に洗浄してご使用下さい。
- 7) 器具類は使用後、直ちに水洗いをして下さい。放置しますと硬化して洗浄が難しくなります。
- 8) 取り扱いには慎重に扱い、ラベルの注意事項に従って下さい。詳細についてはSDSをご参照下さい。

## 安全衛生上の注意

- 本来の用途以外に使用しないで下さい。
- 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱って下さい。
- 粉じん／ガス／蒸気／スプレーなどを吸入しないで下さい。
- 取扱後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- 必要に応じて個人用保護具を使用して下さい。
- 飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡して下さい。口をすすいで下さい。
- 粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診断を受けて下さい。
- 暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡して下さい。
- 緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
- 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理して下さい。
- 施錠して子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 直射日光や水漏れは厳禁です。
- 塗料などの缶の積み重ねは3段までとして下さい。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管して下さい。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないで下さい。
- 内容物／容器を廃棄する時には、国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄して下さい。 ※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。 □詳細な内容、表示例以外の事項については、製品安全データシート（SDS）をご参照下さい。 □本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談下さい。